



みわを元気に

三和地域協議会ニュース 第24号 平成31年3月20日発行

三和地域の人口・世帯数
 男 1,607人
 女 1,671人
 合計 3,278人
 世帯数 1,665世帯
 (平成31年2月末 現在)

発行：三和地域協議会
 編集：広報編集委員会

平成31年度 第6回 三和地域協議会 総会&記念講演のご案内

申込不要・参加無料

日時 4月13日(土)
午後13:30～16:30

場所 三和荘多目的ホール

第一部 総会
13:30～15:00

第二部 記念講演
15:10～16:10

《記念講演》

テーマ「地域で元気に暮らす方法」

～公立大学は役に立つのか?～

講師 福知山公立大学

いぐち かずき
学長 井口 和起 さん



三和での学習と地域の再興を語る 福知山公立大生が住民の皆さんと交流

参加した地域の皆さん(34人)からの質問にも答えていました。逆に学生からの質問に参加者が答えるなど、終始和やかな中で交流ができていたようです。

福知山市が主催する「地域まちづくり講座」が3月6日の夜、農業振興センターで実施されました。講座は「若者との交流で三和地域を元気に」と題し、この間田舎再興策」と題し、この間三和地域をフィールドに地域学習に取り組んできた3人の学生が、「三和と私」、「三和で学んだ地域経営」などについて語りました。

参加してくれたのは上埜妙子さん(長野県木島平村出身、三和町友渕在住)、上野裕也さん(兵庫県川西市出身)、岡野みゆきさん(滋賀県高島市出身)の3人です。



参加してくれた3人の学生

続いて学生たちが三和への移住や民泊体験、祭りへの参加など、2年間の関わりの中で感じたことやこれからの研究テーマ、進路などについて語り、福知山公立大学には、日本中からの学生が学んでおり、今後、地域学習を通じて住民や児童・生徒との交流もさらに活発になっていくことになりました。



地域まちづくり講座の様子

翌7日には三和中学校で学生3人と中学生の交流会も催され、自分の出身地と三和の比較や将来展望などについて、パネルディスカッションが実施されました。

三和地域での活動を通して

福知山公立大学
井坂 彩乃



私たちは地域経営演習の実習先として1年間、三和地域で学んできました。住んだことがない地域を知ることは難しいですが、授業では既存の交通に加え、新しい交通手段や農業、学校、医療等、様々な面から三和を捉えることができました。初めて三和地域を訪れた時は、何があるのかよく分からないけど私の生まれた町よりも田舎という印象を受けました。そして学びを重ねた今は、田舎ではあるけれど新しい試みが生まれる地であると思っています。

三和地域で学ぶ中、私が最も関心を持ったのが新しい交通「みわ ひまわりライド」です。

三和地域以外でもバスや電車の利用が少なく過疎の進む地域は多いです。私の出身地徳島県で走る汽車も全線赤字です。しかし廃止すると、生活を支える交通がなくなってしまう人も大勢います。

多くの地域が抱える公共交通の問題の解決方法を考える日々、ひまわりライドは、「これだ!」と思わせるやり方でした。バスや電車より高いけれどタクシーより安く、そして小回りの効く交通手段です。一度岡部事務局長の運転でひまわりライドに乗り、三和地域を見させていただいたことがあります。点在する住宅、住宅から遠いバス停、自動車が乗らない高齢者には生活が難しいのでは、と感じました。しかしそれはひまわりライドが活躍する条件にもなるのではないのでしょうか。

日本全国の過疎が進む地域や交通に悩む地域で私は「みわ ひまわりライド」について詳しく学びました。ひまわりライドの利点を中心に知ることができたけれど、ひまわりライドが持つ課題を考えたり、実際の利用者の声を聞いたりすることはできませんでした。今後はそれらも含め、ひまわりライドや公共交通空白地有償運送事業について更に学びを深めていきたいです。多角的に学べる場を提供してくれた岡部事務局長をはじめとする三和支所のみなさま、大学生に分かりやすく事業などを説明してくれた三和地域で活動するみなさま、一年間お世話になりました。沢山の学びが得られました。また夏に三和地域の川へ遊びに行きたいです。

一年間の活動を通して



福知山公立大学
石野 蓮大

この一年間三和地域でさまざまな活動をさせていただいたことで、三和地域が現在どのような問題を抱え、それに対してどのような活動を行っているのか、そして高校生生のときには考えもしなかった自分たちの地元の実状について考えるきっかけになりました。

特に公共交通機関と農業に関する事例は自分の地元にも共通して

この一年間三和地域でさまざまな活動をさせていただいたことで、三和地域が現在どのような問題を抱え、それに対してどのような活動を行っているのか、そして高校生生のときには考えもしなかった自分たちの地元の実状について考えるきっかけになりました。

私はこの授業での活動以外に大原のPR動画作りにも関わらせていただいているのですが、そこでも多くの方々に協力していただきました。

授業と動画作りの両方の活動で様々な場所を見学させていただいたのですが、説明をしていただいたり、質問に答えていただいたり、三和地域の皆さんには多くの時間をいただきました。

また1月の現地発表会にも多くの皆さんに足を運んでいただき、たくさんのご意見をいただくことができました。こんなにも私たちの活動に関心を持ってくださっているのかと嬉しく感じました。

このような温かさの感じられる三和地域で活動できて本当に良かったです。

最後に、ほとんどの授業に関わってくださった岡部事務局長をはじめ、三和地域の皆様には本当に感謝しております。

今回のラジオは 「奥丹波活性協議会」のみなさん

F M丹波で月～金曜午後4時から放送中の番組「七色パリエティワイド」内で隔月1回、三和地域協議会が三和地域の情報を発信している『みわを元気に』のコーナー、第10回が去る2月7日に放送されました。今回は、奥丹波活性協議会から高橋正さん、西村澄敏さん、高橋律夫さんにお越しいただきました。協議会の結成秘話や活動、



終始笑い声のたえなかった収録



手づくりのSL機関車

菟原地区体育祭での仮装行列について、また手作りのトラクターのSL機関車についてなど、みなさんの仲の良さが伝わってくる素敵なお話を伺いました。とても楽しい3人の話しぶりや掛け合いから、奥丹波活性協議会の雰囲気が感じられると思います。

笑いあり、涙あり?!の放送、ぜひお聴きくださいね!

下のQRコードを携帯電話・スマートフォンやタブレットで読み取り、出てきたリンク先をクリックすると内容をお聞きいただけます。(※通信料がかかります。)



奥丹波男前3人組

みわしまわり Ride



利用状況をお知らせします!

	累計(平成29年10月～平成31年2月)
会員登録者数	90人(内訳:男性21人・女性69人)
利用者数	45人(内訳:男性7人・女性38人)
運行便数	827便(内訳:町内便789便・プラント便38便)



みわふれあいカフェ 再開します!

4月5日(金) 9:00～10:30

いこいの広場にて

三和町のイベントやさまざまな行事でたくさんの方の地域の方に支えていただき、いろいろな事を教えていただきながら、今があるのだなあと改めて感謝・感謝の今日この頃です。



編集後記

三和町でお仕事をするようになって今年で5年目になろうとしています。JAで。信金で。郵便局で。ローソンで。野菜市で。支所で。三和荘で。いろんなところで地域の方にお会いすると「塩見ちゃん!」「ゆみちゃん!」「塩見さん!」と、気軽に声をかけて下さいます。(嬉しい!)

この協議会で仕事を始めたころは、土地勘もなく知らない方ばかりで、挨拶をするのにもすごく緊張したりしていたあの頃…。それが、今ではそんな頃が嘘のように(笑)本当に、みなさんと楽しくお付き合いさせていただいています。

「下川合に住み始めました」 またの 侯野 喬仁 たかまさ

三和町にお住まいの皆様、はじめまして。昨年11月より下川合地区に住み始めました、侯野 喬仁(またの たかまさ)と申します。

私は現在、東京と福知山(三和町)を行ったり来たり、二拠点暮らしをしています。

福知山に在る間は主に福知山観光地域づくりセンターの一員として、三和町・大原地区などで地域づくりに関する仕事をしています。

生まれは兵庫県篠山市です。

農家だった祖父の後、父のき、野山を駆け回る少年時代を過ごしました。

無駄がない美しい農村風景が、大人になって、何気ない農村の暮らしを守る力になればと思います。

地域づくりに関わる仕事を始めました。

日本の農村は、数え切れない魅力ととも、多くの課題を抱えていることは言うまでもありません。

様々な現場に関わらせて頂き、農村が輝き続けるには、小さくても着実に、今の社会に必要なとされる価値を創出する仕組み(産業)を作っていくことが何より大事だと痛感する昨今です。

そんな想いを持ちつつ、大原地区で活性化協議会を中心とする地域の皆様と連携し、「ふるさとウエディング事業」の立ち上げを行なっています。

大原神社をはじめとする大原固有の有形・無形の文化や景観、地域の良さをフル活用し、エリ

す。

最後に、三和町は私が幼い頃に感じた「農村の美しさ」が凝縮された場所です。



披露宴会場となる絵馬殿



結婚式を挙げられるお2人

ア全体をウェディング会場として貸し出し、サービス提供するという事業です。

そして来る3月30日に、第一回目の大原ふるさとウエディングを行います。

(借越ながら私自身の式です)

もしよければ、大原へ観にきてください。

友淵の古城について 高根 利数

明智光秀が織田信長の命を受け丹波を平定したのは、1579年、足かけ5年の歳月を要したとされています。

今から440年前のことです。

この奥丹波地方を平定する1つの拠城として役割を果たしたのではないかと考えられます。

友淵の古城は東の古城、西の古城から成り、①南の郭群の万燈山(今はマンドヤマと呼称)と②北の郭群に分かれています。

2020年のNHK大河ドラマでは「麒麟がくる」と題して明智光秀を主人公にして展開されていく。

今、NHKの朝ドラ「まんぷく」の主人公に扮する長谷川博己さんが明智光秀役を演じるようになって、今からとても楽しみにしています。



西の古城の天満宮

天満宮の丁度東側には明治初期友淵村小学校の跡地があり、そこから北へ100～150メートル程行くと峠の番所があります。

今後とも、地域の大切な財産として大切に育てていきたいと思っています。

※参考文献「三和町史」、岡部一稔(芦刈)先生の「友淵城跡について」、「兵庫丹波新聞篠山版等」

友淵の西の古城は府道97号丹南三和線沿いに看板も表示されていますが、②に示した北の各群には、集落の中程から見上げた横長の山頂に金毘羅神社、天満宮、秋葉神社の三社が祀られています。

毎年4月25日は天満宮の祭事として友淵のみなさんがお参りします。

参道や境内の清掃などは、友淵老人会や友淵地区の氏神である春日神社を中心にした各社の宮当番の株の方々によってお守りしています。



友淵村小学校跡地